



BEDB にて

### 【フィリピン市内視察】

マニラの主要観光地であるサンオーガスチン教会、リサール公園、マニラ大聖堂、サンチャゴ要塞、カサマニラ、SM モールオブアジアを視察しました。観光客は主に東南アジア系で、日本人はほとんど見られず、欧米人は約 2 割程度。歴史的建造物はマニラ中心部から少し離れたイントラムロスに集中しています。

サンオーガスチン教会は 1609 年建造のフィリピン最古の石造り教会で、ユネスコ世界遺産に登録され、ステンドグラスやシャンデリアが豪華で多くの観光客を集めていました。

1571 年建造のマニラ大聖堂は内部の石彫りやモザイクが精緻で、停電が一時あったもののライトアップされて美しさを堪能できました。

SM モールオブアジアはアジア最大級のショッピングモールで、映画館やショップ、レストランが揃い、クリスマス前の買い物客で賑わっていました。オニツカタイガーや元気寿司は高額にもかかわらず人気で、フィリピン人の強い消費意欲を示していました。これは、クリスマス前に 1 か月分の追加給料(13th Month Pay)が支払われる法律とも関連していると考えられます。



サンオーガスチン教会



マニラ大聖堂

### 【ブルネイ市内視察】

ブルネイの観光地であるキアングマーケット、水上集落、ブルネイフレーム、ジャメヤシル・ハサニル・ボルキア・モスク、王室資料館を視察しました。フィリピンと比べると観光客は極めて少なく、街中の交通も渋滞がなく道は空いています。バイクはほとんど見られず、移動は主に自家用車で行われ、1 家に 2 台以上所有するのが一般的です。

キアングマーケットではフルーツや野菜が中心に販売されており、観光客はまばらに見られました。水上集落はブルネイの歴史的な村落で、かつて王族も暮らしており、川の上に高床式の家々が連なっています。学校や消防署、モスクも整備されており、移動は水上ボートで行います。所得の低い人だけでなく、裕福なオーナーも水上集落に住んでいますが、近年は陸上住宅への移転が増えているようです。

ジャメヤシル・ハサニル・ボルキア・モスクは 1994 年に現国王即位 25 周年を記念して建設され、金色のドーム 29 個や白大理石で豪華に造られています。



ジャメヤシル・ハサニル・ボルキア・モスク

夕方に開かれる公共の屋台マーケットでは焼き鳥や焼き魚、ドリアンなどが販売され、価格は